

ソフトウェアテストといえば

SHIFT

2016年8月期
第4四半期及び通期決算説明会
資料

株式会社SHIFT(証券コード:3697)

2016年 10月12日

AGENDA

1. 通期決算概要
2. 成長戦略の進捗
3. FY2017年の活動方針

1. 通期決算概要

1. 通期決算概要

<p>FY2016 事業方針</p>	<p>中期成長戦略「SHIFT' 100」元年として、売上高、売上総利益、営業利益の成長を維持しながら、海外展開、サービス領域拡大のための投資活動を推進</p>	
<p>FY 2016 通期</p>	<p>決算概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上高 実績: 5,511百万円 (前年同期比 67.6 %増、予算比 99.5%) ■ 売上総利益 実績: 1,695百万円 (前年同期比 57.7 %増) ■ 営業利益 実績: 517 百万円 (前年同期比 62.2 %増、予算比 112.9%) <ul style="list-style-type: none"> □ 売上高は、計画通り堅調に推移しつつも今後の成長に向けたポートフォリオの見直しにより、一時的に鈍化 □ 営業利益は、業務効率化とコスト削減活動の成果により予算達成
	<p>事業概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 通期を通して受注環境は順調を維持 <ul style="list-style-type: none"> □ エンタープライズ領域は、業界での認知度向上に伴って、大手事業会社やプライムベンダーからの直受注が好調に推移。 各業界に特化したサービス体制の強化を進める □ エンターテインメント領域は、既存サービスでの堅調な成長と新領域への進出が進む
	<p>成長戦略 トピックス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソフトウェアテスト専門企業から、品質保証専門企業へと成長を推進するサービスポートフォリオの拡充を進める ■ 基盤システム構築の足掛かりとした人材DB開発で全メンバーの技能可視化を進め、案件に対するスキルスマッチの低減、効率的な案件運営とスキルアップを促進
<p>FY2016 通期 業績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上100億円に向けた戦略的投資活動によるトップラインの成長を推進しながら、徹底的な原価削減活動や業務効率化により好調な利益水準を維持 ■ 少数の大型顧客への業績が全体業績に与える影響が大きい。来期に向け、メガクライアントの育成、獲得に注力する 	

1. 通期決算概要

年度売上高の成長率が、過去最高数値を記録

単位:百万円	会計期間			累計期間		
	FY2016 4Q	FY2015 4Q	前年同期比	FY2016 4Q	FY2015 4Q	前年同期比
売上高	1,492	1,020	46.4 %	5,511	3,288	67.6 %
売上総利益	443	316	39.9 %	1,695	1,075	57.7 %
売上総利益率	29.7%	31.0 %	△1.4 pt	30.8%	32.7 %	△ 1.9pt
販管費	306	216	42.0 %	1,177	756	55.7 %
営業利益	136	100	35.4 %	517	319	62.2 %
営業利益率	9.1%	9.9%	△0.7 pt	9.4%	9.7%	△ 0.3 pt
経常利益	184	99	85.0 %	569	315	80.6 %
税前利益	185	99	85.4 %	549	315	74.0 %
親会社株主に帰属 する四半期純利益	86	55	54.3 %	307	195	57.6 %

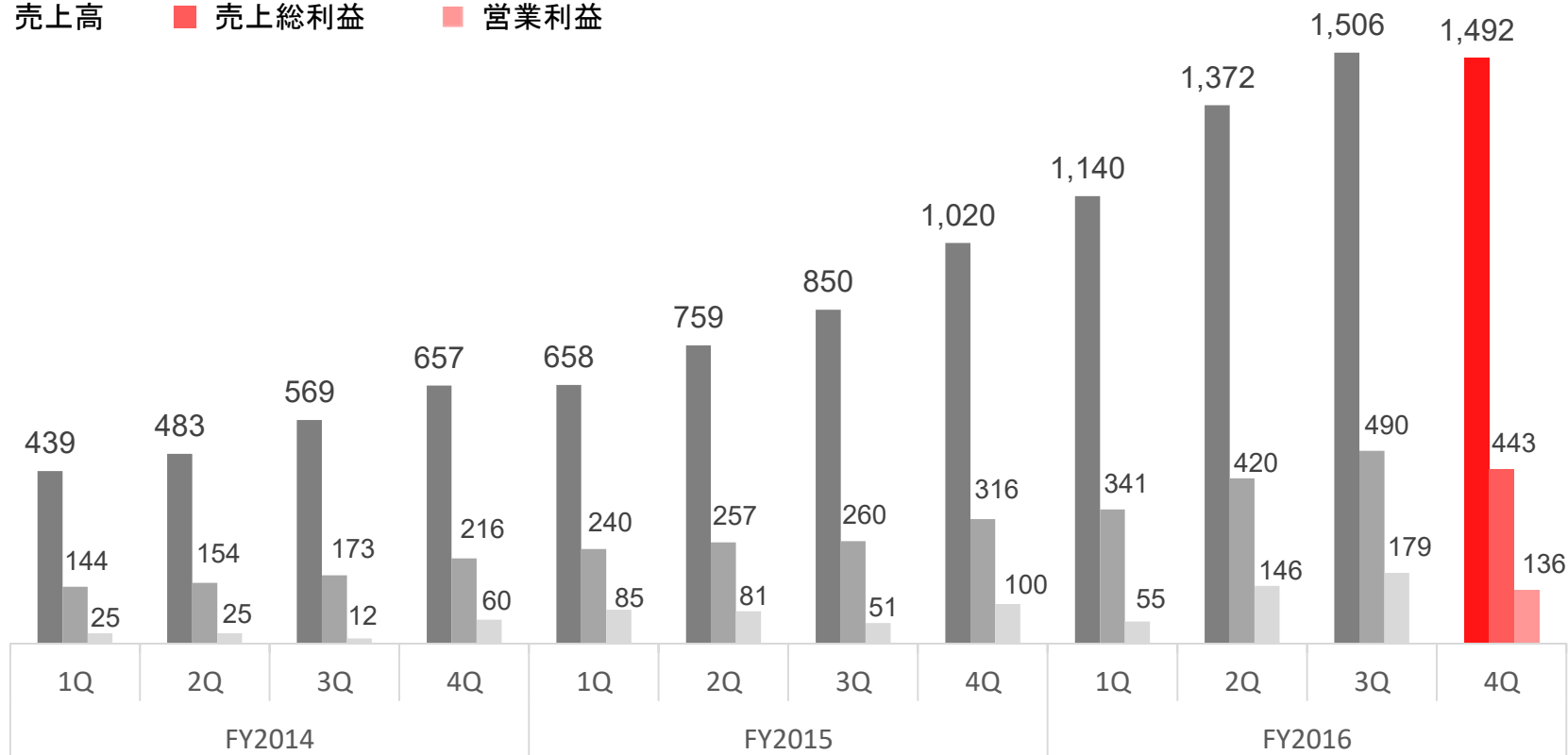
※1月よりリベロ・プロジェクト、5月よりSHIFT ASIA、6月よりSHIFT SECURITYの業績を含む。

1. 通期決算概要

大型・高難易度顧客の攻略を最重要事項と位置づけた第4四半期
組織力強化を最重要施策とし、一時的に売上が減少

(百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ■ 営業利益



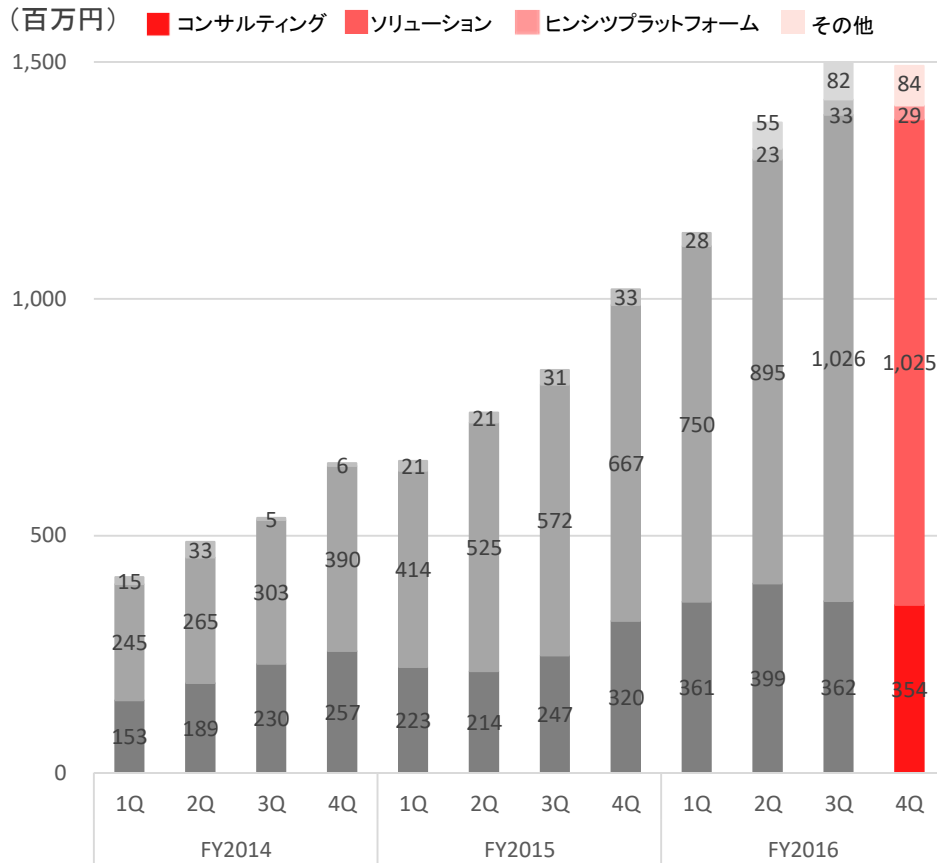
1. 通期決算概要

セグメント別業績推移

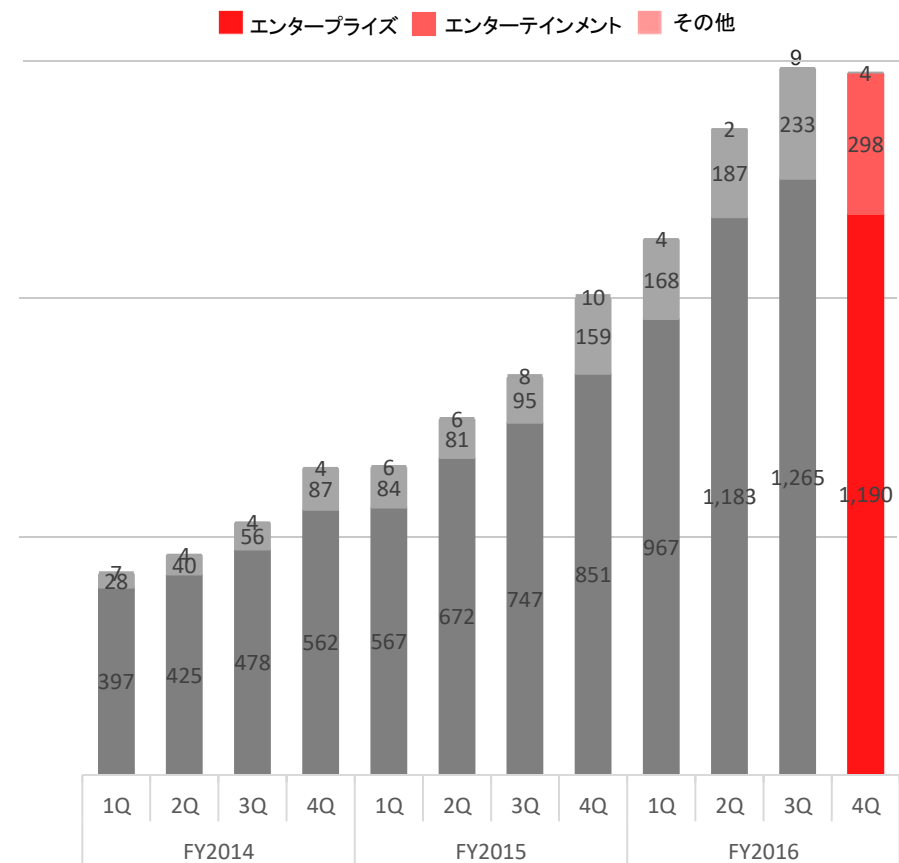
今後の成長へ向け、体制とサービス強化を重点的に推進
エンターテインメント領域は、引き続き市場シェアを伸ばす

※コンサルティング: プロジェクト管理、開発上流工程向けサービス
ソリューション: 開発下流工程向けサービス(テスト実行など)

サービス別業績推移



対面市場別業績推移



1. 通期決算概要

販管費の推移

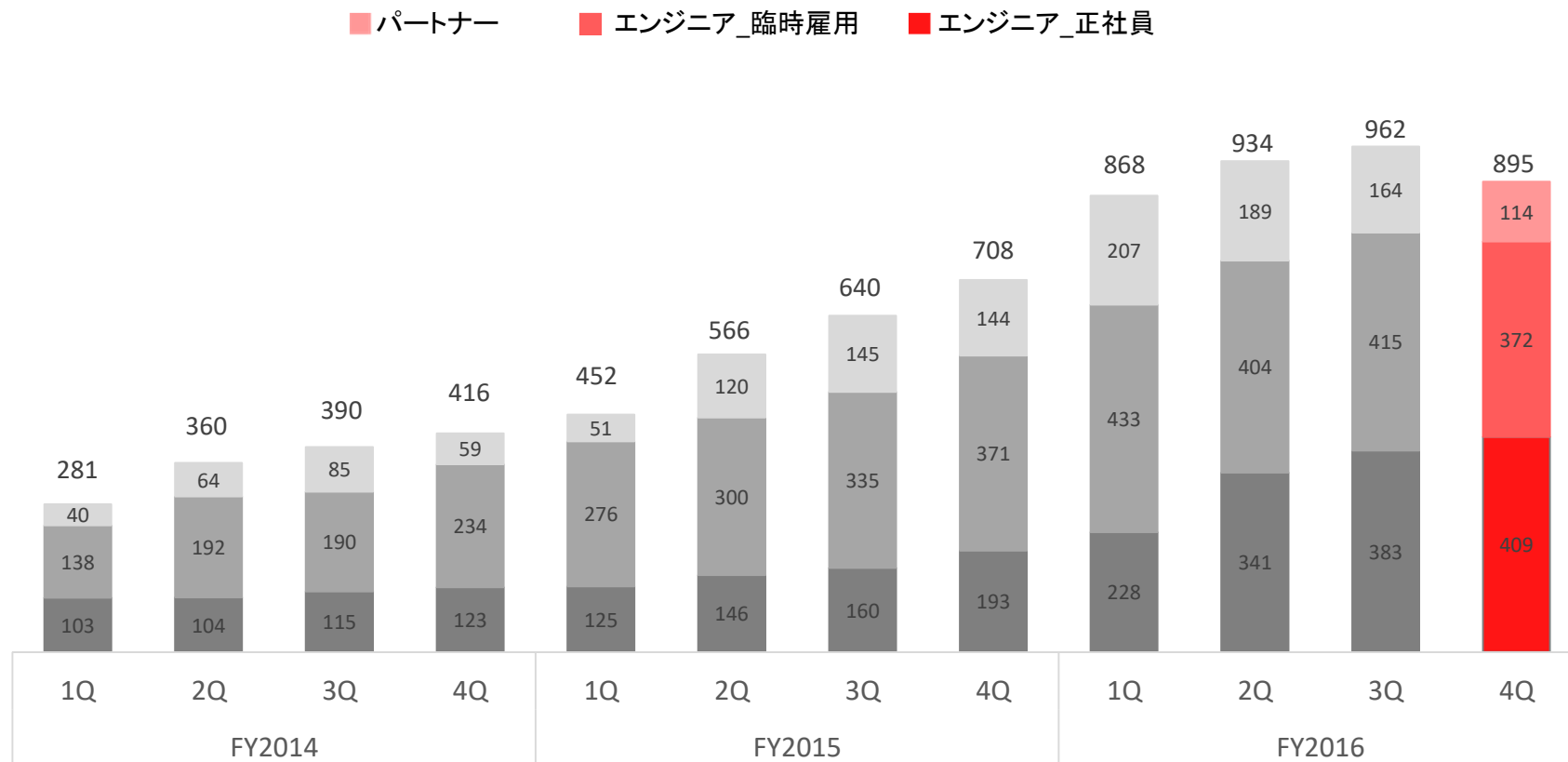
人材採用効率と業務効率の向上によるコスト最適化を推進

上段:費用(百万円) 下段:対売上比(%)	会計期間			累計期間			備考
	FY2016 4Q	FY2015 4Q	前年同期比	FY2016 4Q	FY2015 4Q	前年同期比	
人件費	191 12.8%	117 11.6%	62.2% 1.3%	646 11.7%	422 12.8%	53.1% △1.1%	
採用費	42 2.9%	45 4.2%	△6.5% △1.3%	195 3.5%	135 4.1%	44.5% △0.6%	採用効率化による費用削減
地代家賃	12 0.8%	6 0.7%	78.1% 0.1%	38 0.7%	28 0.9%	36.7% △0.2%	
支払報酬	15 1.1%	7 0.7%	119.4% 0.4%	76 1.4%	36 1.1%	112.1% 0.3%	ベトナム拠点立ち上げに伴う費用の計上
その他	44 3.0%	38 3.8%	16.6% △0.8%	219 4.0%	133 4.1%	64.0% △0.1%	ベトナムなど海外出張費の増加
合計	306 20.6%	216 21.2%	42.1% △0.6%	1,177 21.4%	756 23.0%	55.7% △1.6%	

1. 通期決算概要

従業員数の推移

エンタープライズ領域における受注案件の多角化、コンサルタントの需要増加に伴い雇用形態ごとの割合に一時的な変化が出る



※ 末日時点での雇用契約が有効な人員数。
 ※ 登録型アルバイトの人員は含まれておりません。
 ※ バックオフィスの人員は含まれておりません。

1. 通期決算概要

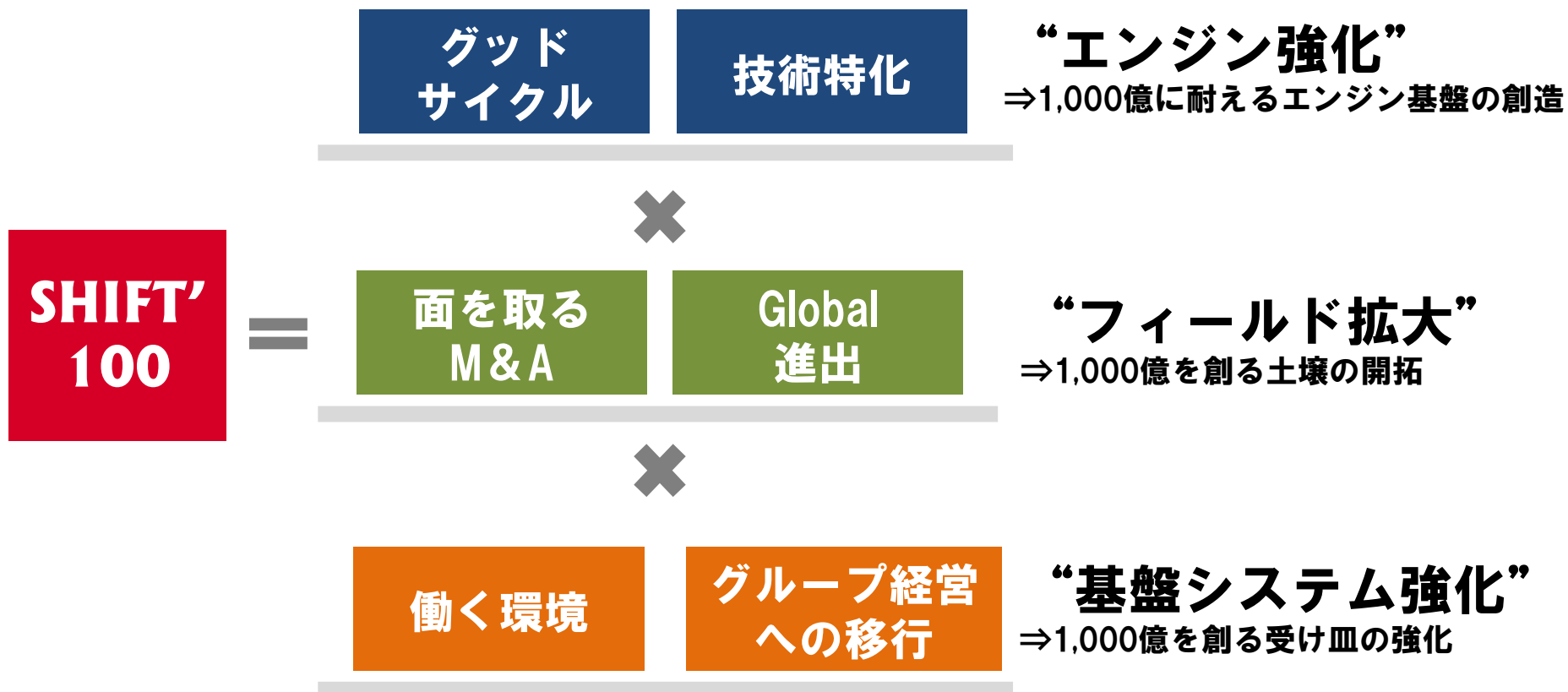
連結貸借対照表

今後の企業成長に向け、財務レバレッジを効かせた投資活動を実施

単位:百万円	FY2016 4Q	FY2015 4Q	前年 同期比	FY2016 3Q	前四半期 比	備考
流動資産	2,681	1,802	48.8 %	2,540	5.5 %	利益基調のため、 キャッシュ増加
うち現金及び預金	1,635	1,286	27.1 %	1,535	6.5 %	
有形固定資産	186	151	23.2 %	193	△3.4 %	東京増床と、ベトナム拠 点の立ち上げによる
無形固定資産	320	99	221.7%	315	1.6 %	リベロ・プロジェクト子会 社によるのれんの計上
投資その他	175	171	2.5 %	174	0.5 %	
総資産	3,363	2,224	51.2 %	3,223	4.3 %	
流動負債	999	692	44.4 %	938	6.5 %	
固定負債	535	16	3243.2 %	572	△6.5 %	第2四半期に実施した 借入による増加
純資産	1,828	1,516	20.6%	1,711	6.8%	
うち非支配株主持分	86	24	251.5%	56	54.4%	

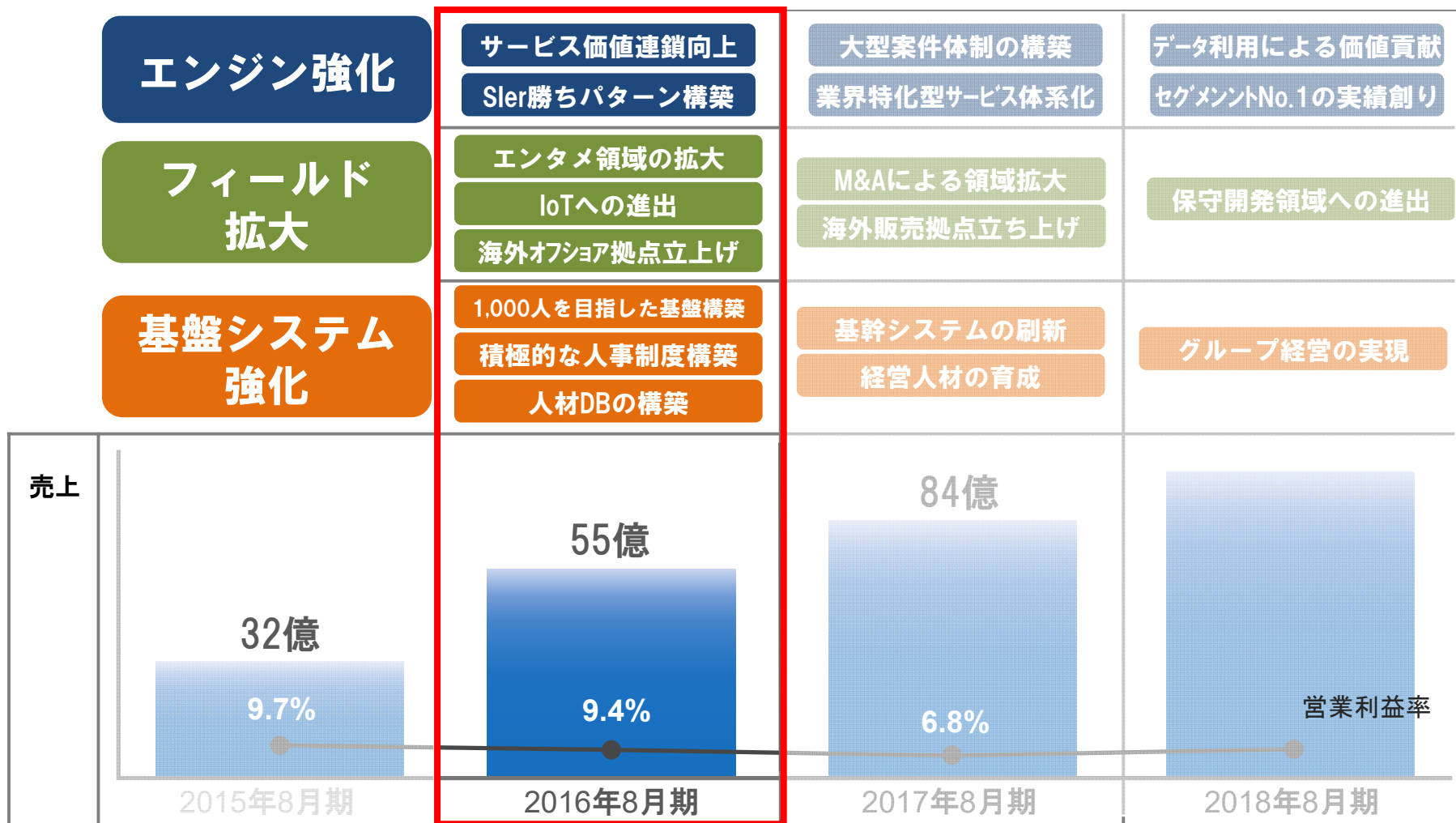
2. 成長戦略の進捗

1,000億を実現するための100億を創る



2. 成長戦略の進捗

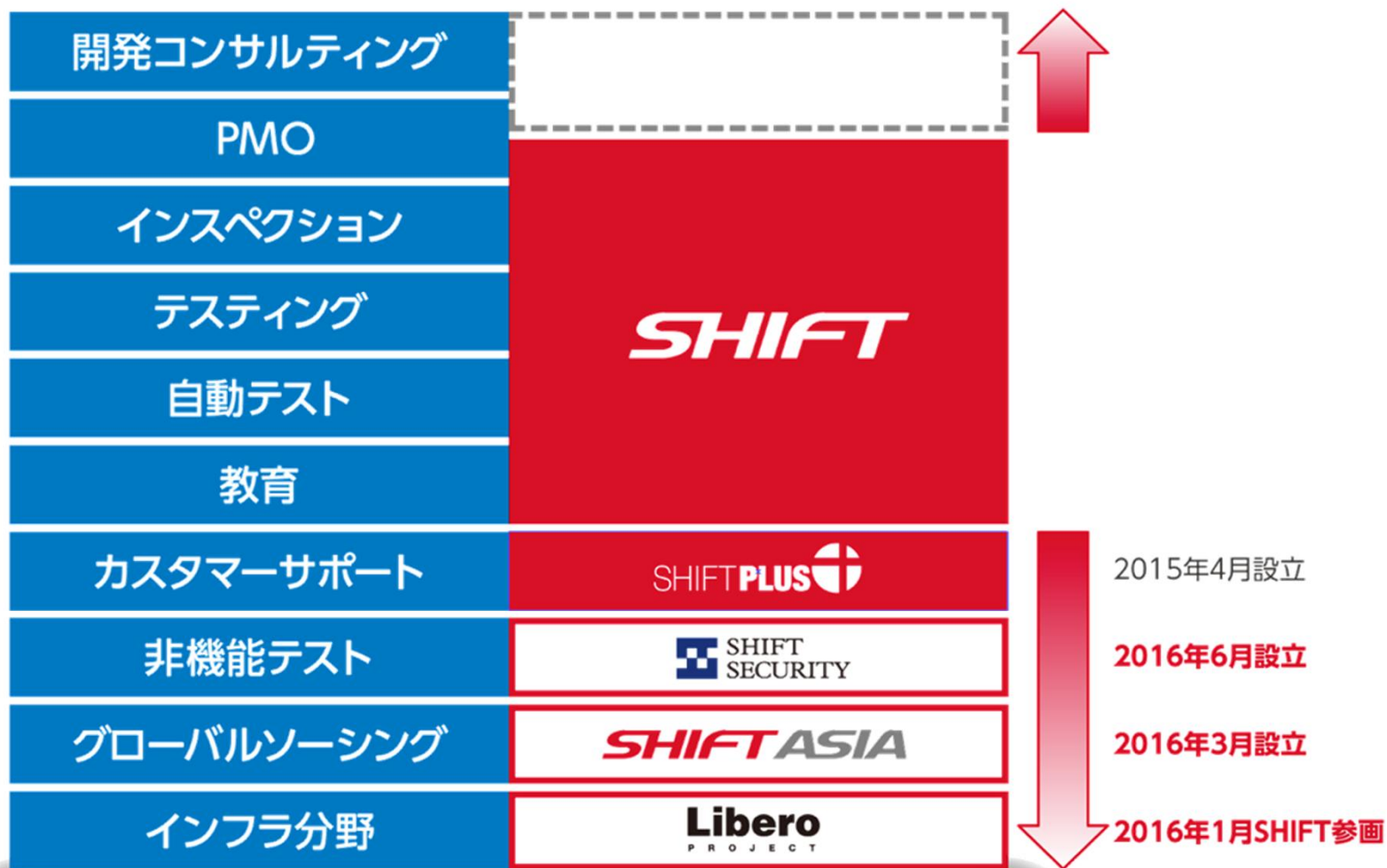
更なる事業規模の拡大を加速させるエンジンとフィールド基盤、それに耐える企業基盤の構築を進める



2. 成長戦略の進捗

エンジン強化に関する取り組み

【サービス価値連鎖向上】 テスティングサービスだけではなく、顧客の開発プロセス全般における一気通貫サービスを展開できる体制を確立



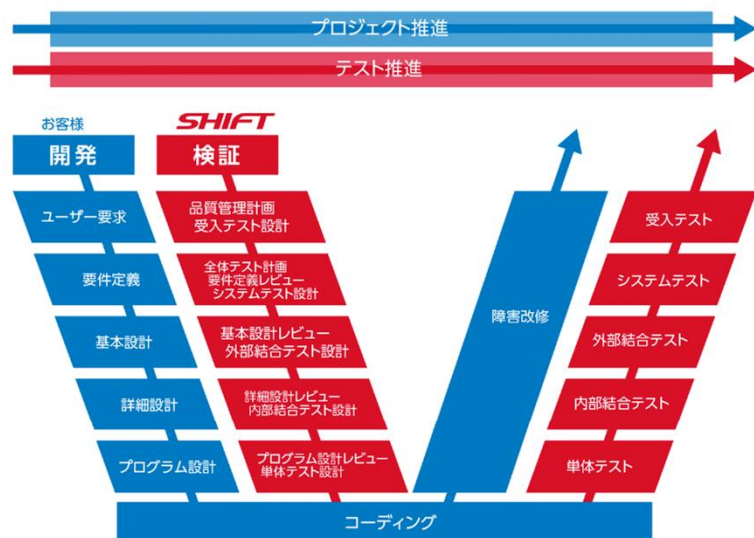
2. 成長戦略の進捗

エンジン強化に関する取り組み

【SIer勝ちパターン構築】大型開発プロジェクトにおいて、顧客の品質向上、コスト削減を同時に目指すため2つのソリューションを提供開始

Wモデル+ONE

大規模開発における、上流工程からテストを開始し、開発とテストを同時並行に進める「Wモデル」に、テスト推進の役割を追加。上流から下流まで、開発プロセスの中でトータルサポートするモデル

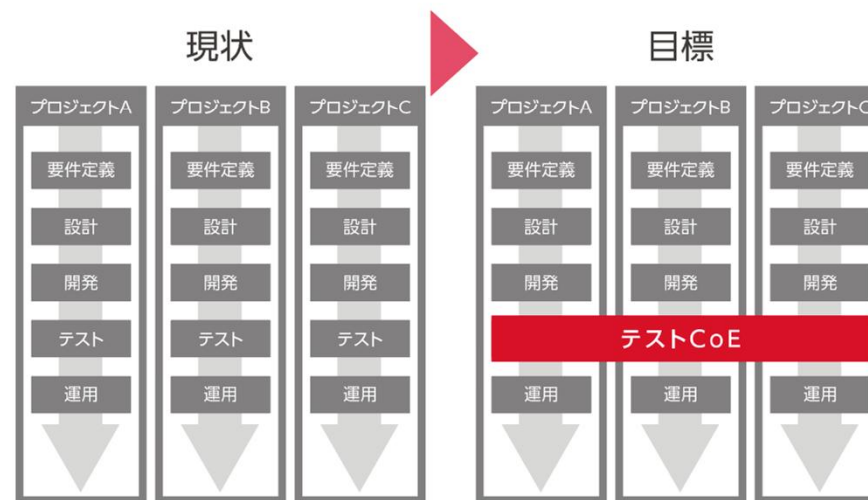


3つの品質

顧客のビジネス課題に寄り添い、「サービス品質」、「製品品質」、「プロセス品質」の向上に対して、トータルでサポート。

Testing CoE

単一のプロジェクトだけでなく、顧客の複数開発プロジェクトにおけるテスト工程を、一手に集約することで、バラバラになりがちな品質基準を一定にし、コスト変動費化するサービス



製品品質	複数プロジェクトに対して一定の品質基準
生産	開発者のリソースを有効活用することで、全体スループットが向上
コスト	リソースを変動費化することができ、テストにかかるコストを削減

2. 成長戦略の進捗

フィールド拡大に関する取り組み

【SHIFT ASIA】今後のグローバル進出におけるコア拠点
優秀な創立メンバーの獲得により、設立から3か月で実案件での稼働開始

設立期 (2016年5月~2016年6月)

教育~メンバー立上げ期 (2016年6月~8月)

2016年5月 **SHIFT ASIA** 設立



日本の奨学金対象者として
文部科学省から
選ばれたメンバー

3名/33名

日本語スピーカー

29名/33名

▶ 日本語でのプロジェクトを円滑に推進

素養、コミュニケーション能力に優れ
順調に実案件を推進

● 幅広い業界での成果を出す

PKG

SI

WEB

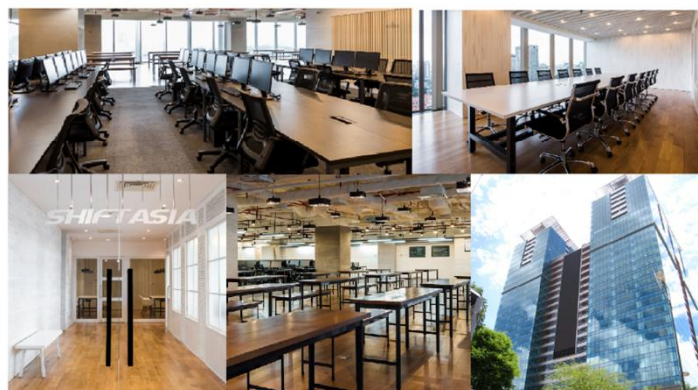
ゲーム

IoT

● 粗利向上 SHIFT平均粗利 (FY2016実績) **30.8%**

対象案件にて、
粗利着地が

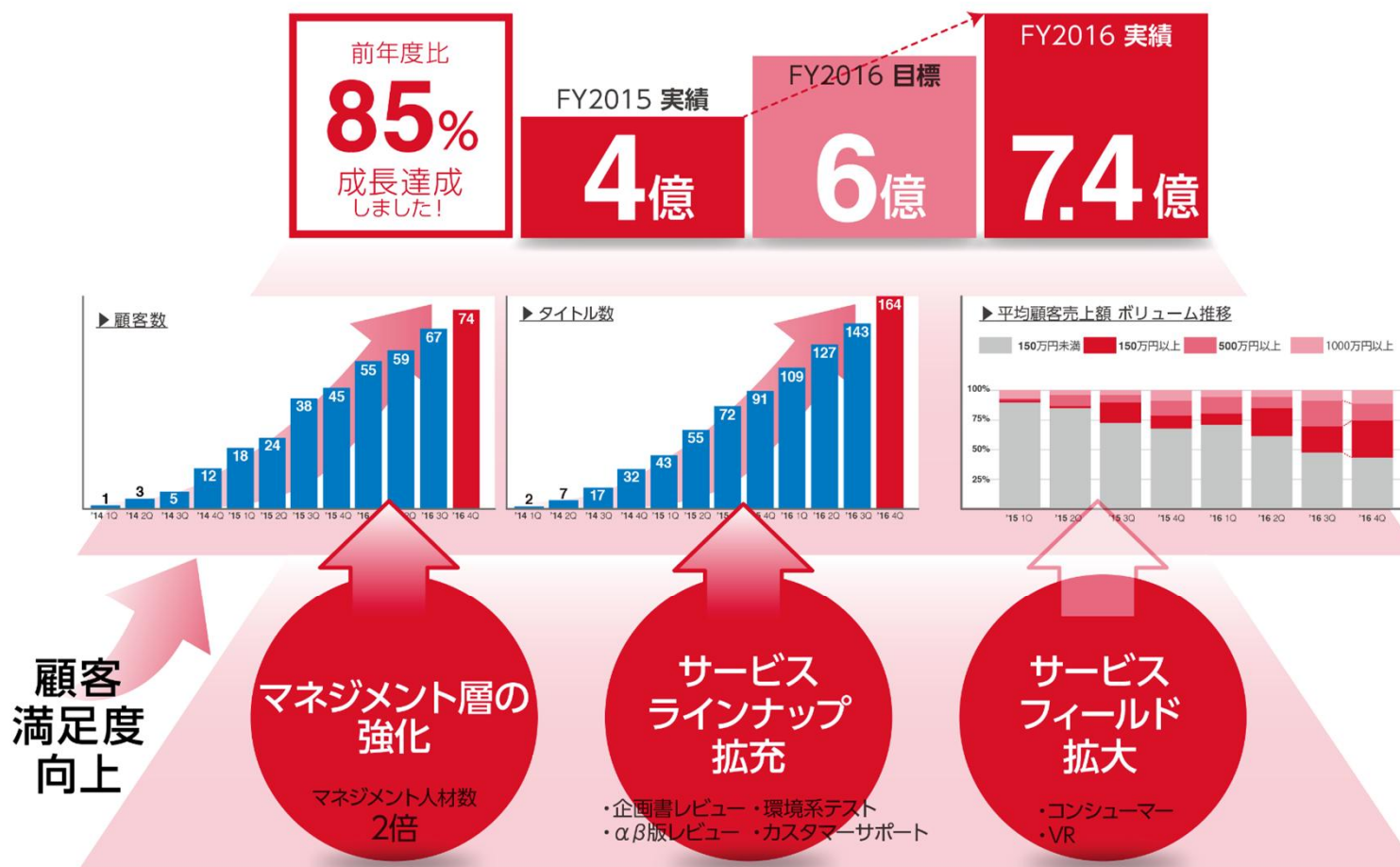
45% になりました。



2. 成長戦略の進捗

フィールド拡大に関する取り組み

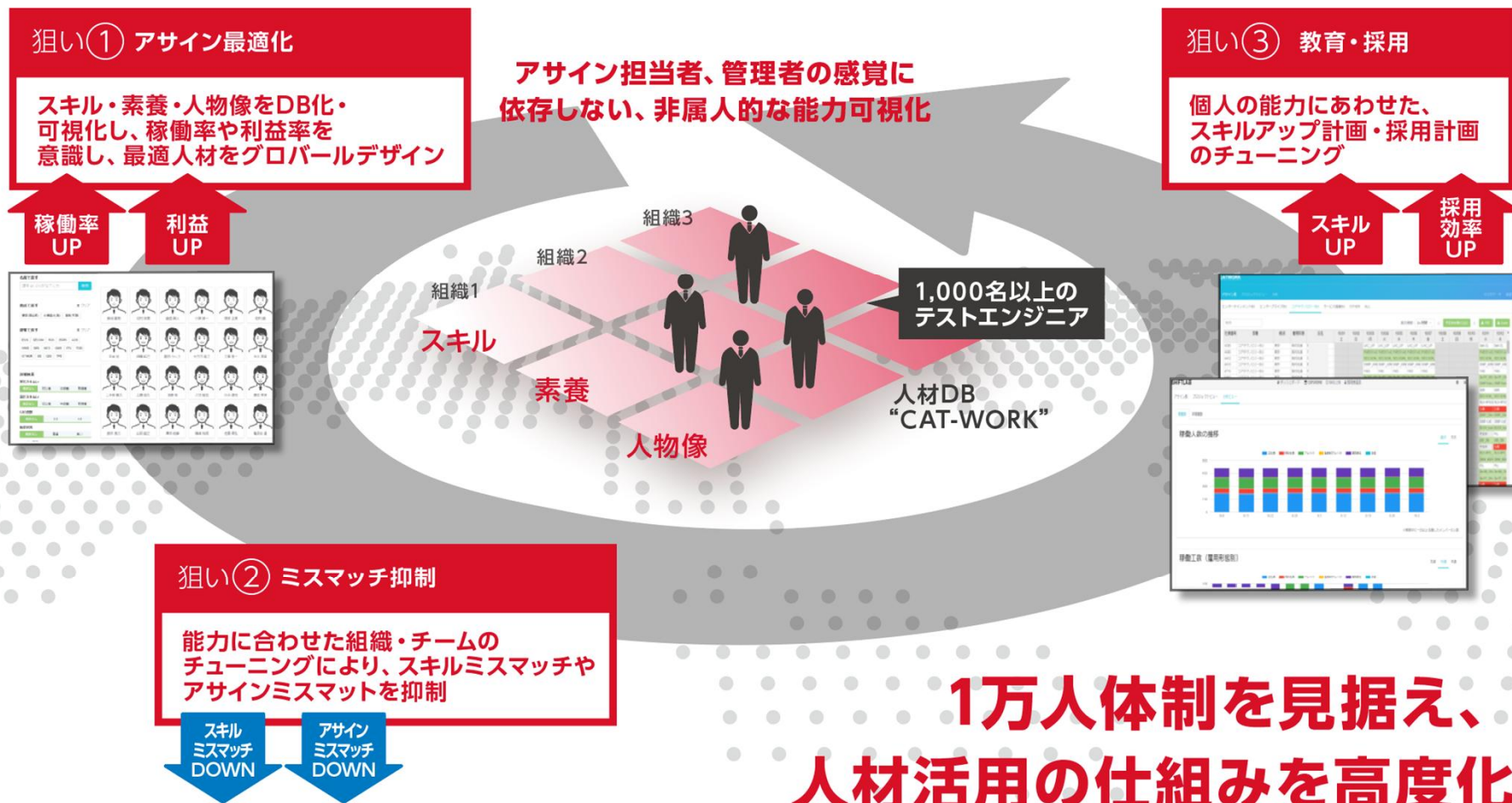
【エンタメ】既存領域（ソーシャルゲーム）での成長を順調に伸ばしながら、新たな領域へのサービス拡大を促進



2. 成長戦略の進捗

基盤システム強化

【人材DBの構築】全拠点メンバーのスキル・素養・人物像を定量化し、ミスマッチのない最適アサインと組織バランスの強化、個々にあった最適な人材育成が実現可能に



1万人体制を見据え、
人材活用の仕組みを高度化

2. 成長戦略の進捗

それぞれが各分野において堅調な成長を見せる
今後、グループとしての更なるシナジーの創出を推進



SHIFT PLUS
＜カスタマーサポート＞

【設立】2015年4月
【所在地】高知県

順調に売上を伸ばしつつ、更なる成長へ向けた取り組みを推進

※CS:カスタマーサポート

CS ※事業の順調な拡大

月平均の売上高推移とクライアント数 推移



年次	クライアント数	売上高
2015年8月期	1社	-
2016年8月期	17社	124% 成長!

企業文化づくりを推進

人員数の増加推移




時期	人員数
設立時	33名
2016年8月期	58名 (+18名)

毎週1回の勉強会でナレッジ共有

新領域への挑戦

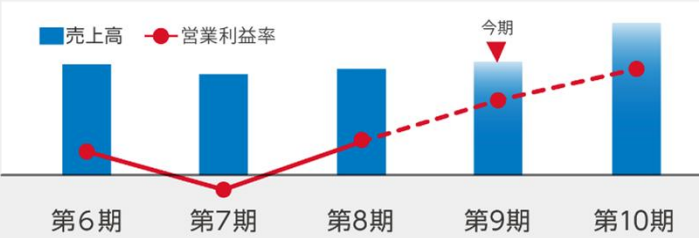
機械学習を活用し
満足度の向上を実現する
CS体制を構築



Libero PROJECT
＜ソフトウェア開発・検証＞

【参画】2016年1月
【所在地】東京都

内部構造の見直し（販管費の効率化）により、
営業利益の過去3年での最高値を達成



期次	売上高	営業利益率
第6期	低	低
第7期	中	低
第8期	中	中
第9期	高	高
第10期	最高	最高



SHIFT SECURITY
＜セキュリティテスト＞

【設立】2016年6月
【所在地】東京都

設立月から案件受注、計画より前倒しでの
単月黒字化達成

済

高品質
安定した
サービス
確立

済

コア
メンバー
立上がり

進行中

更なる
認知向上
案件獲得

3. FY2017年の活動方針

3. FY2017年の活動方針

業績予想

売上1,000億円を目指した成長基盤構築に向け、引き続き投資活動を継続
事業会社との直取引プロジェクトの推進により、企業成長の牽引を図る

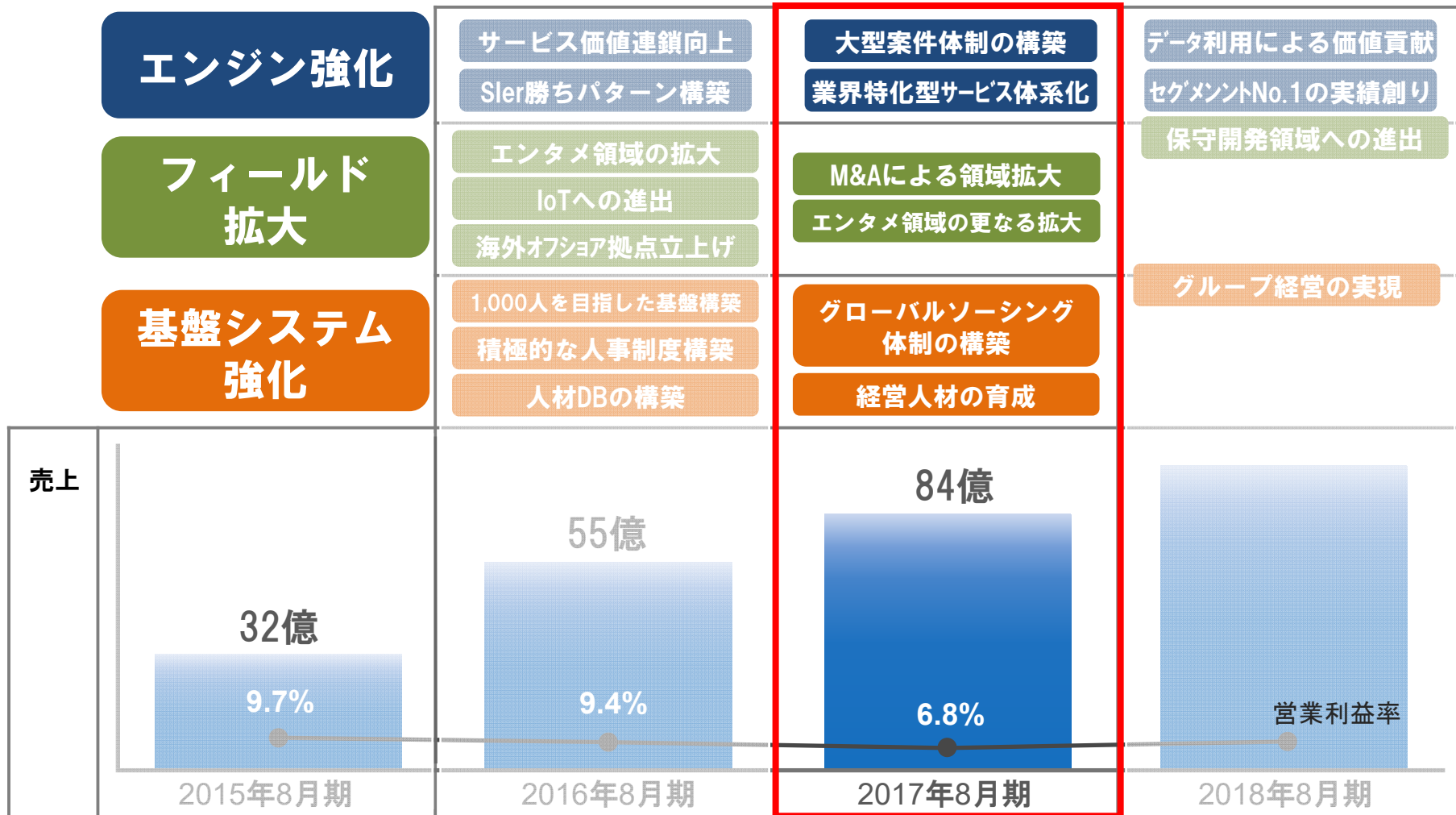
FY2017の活動方針



(百万円)	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	対前年比(%)	百万円	対前年比(%)	百万円	対前年比(%)	百万円	対前年比(%)
第2四半期 累計	3,498	139%	122	61%	139	67%	65	50%
通期	8,498	154%	575	111%	603	106%	331	108%

3. FY2017年の活動方針

更なる事業規模の拡大を加速させるエンジンとフィールド基盤、それに耐える企業基盤の構築を進める



3. FY2017年の活動方針

【エンジン強化】各顧客の特性に応じた品質保証体制を構築。同時に、業務効率を多角的に分析し、更なる稼働率と利益率の向上を追求

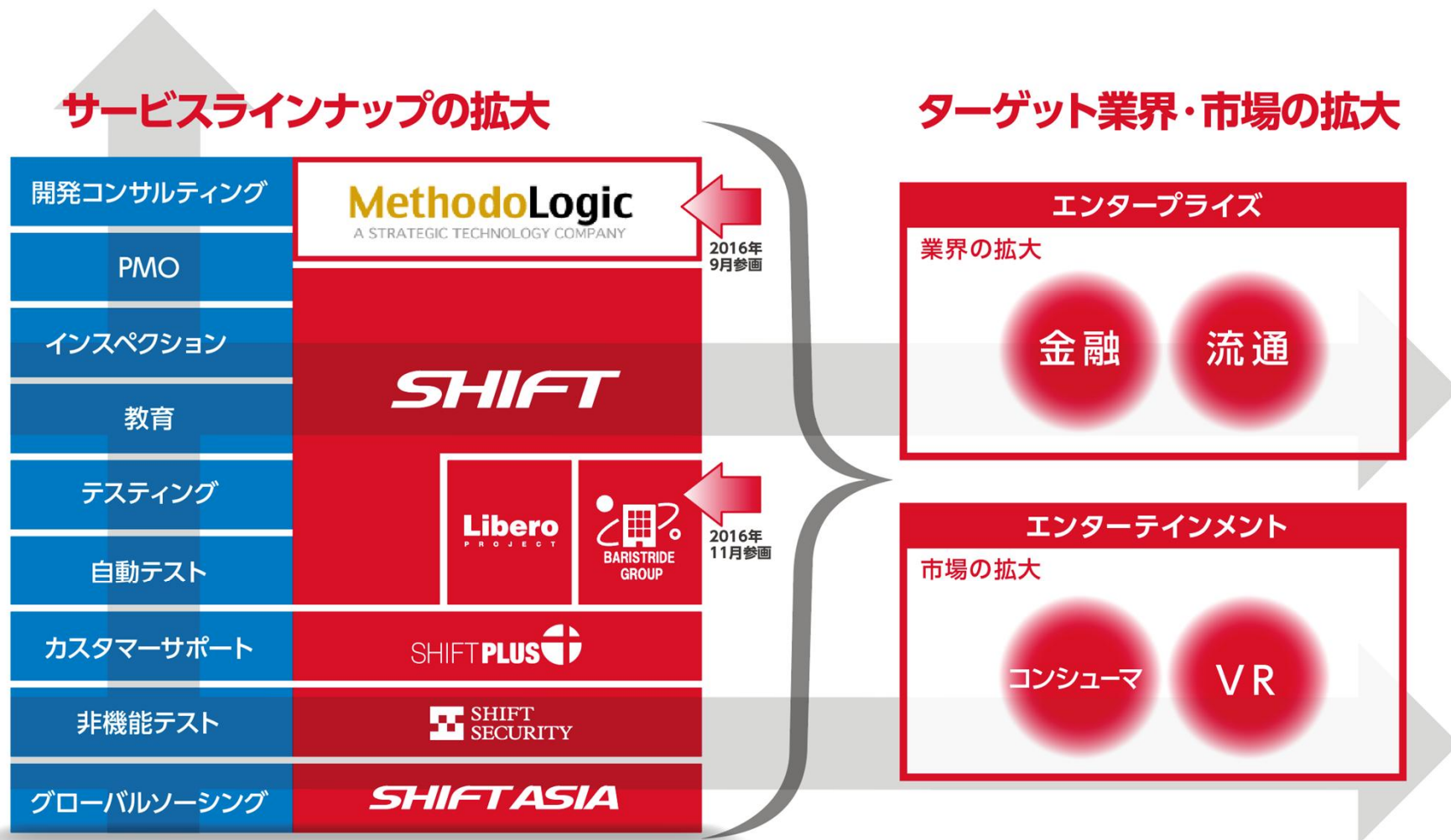


徹底的な業務効率化を多角的に分析・推進し、更なる稼働率と利益率の向上を進める



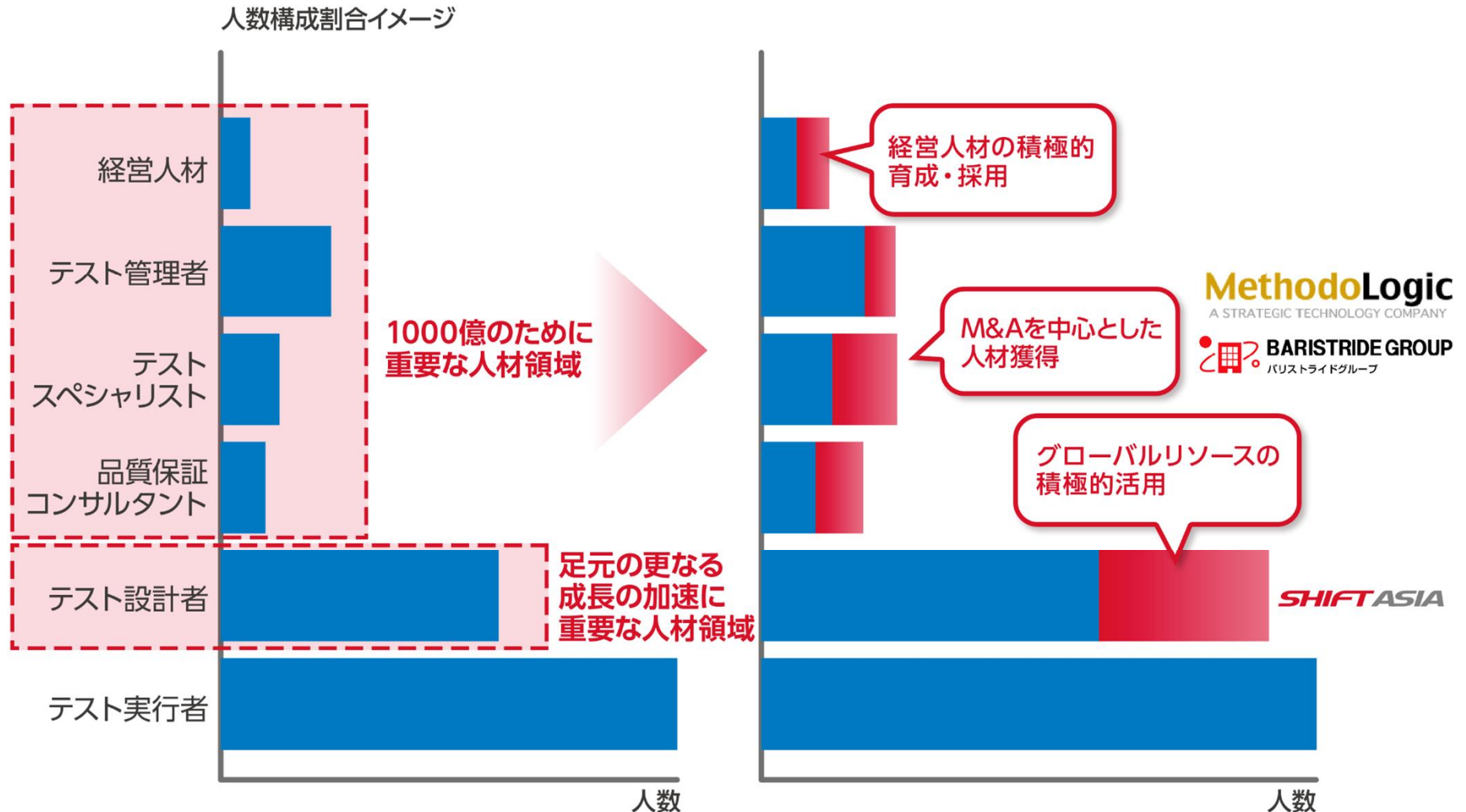
3. FY2017年の活動方針

【フィールド拡大】M&Aによりサービスラインナップの拡充を図りながら、ターゲット業界・市場を拡大していく



3. FY2017年の活動方針

【基盤システム強化】M&Aやグローバルリソースの活用により、獲得しにくい人材レイヤーを積極的に確保



ワークスアプリケーションズとの、更なる関係強化と企業成長に向けた資本業務提携を合意

人工知能(AI)を使ったパッケージソフトウェアの 開発における品質保証に関わる 包括的業務提携を行う

- ・AIを活用したERPパッケージ製品「HUE®」の包括的品質保証
- ・「HUE®」の外販基盤(PaaS)開発における品質保証
- ・両社の海外拠点を主軸とした、グローバル開発体制の整備
- ・その他両社協議の上定める協業

3. FY2017年の活動方針

1Q活動進捗

サービスポートフォリオの強化と、開発の知見を持った優秀な人材の確保を目的としたM&Aを実施

株式会社メソドロジック

開発上流工程でのサービス強化に向けた優秀なコンサル人材の確保

2016年9月参画

- 【社名】 株式会社メソドロジック
- 【所在地】 東京都新宿区
- 【代表者】 代表取締役 山岸耕二
- 【資本金】 1,500万円
- 【設立】 平成21年7月

【業務内容】

アーキテクチャ設計、エンタープライズシステム設計、標準化、品質生産性向上支援、IT戦略策定支援、IT人材育成支援

バリストライドグループ株式会社

ソフトウェアテスト、自動化サービスの強化に向けた開発知見を有する人材の確保

2016年11月参画

- 【社名】 バリストライドグループ株式会社
- 【所在地】 東京都目黒区
- 【代表者】 代表取締役 畠山奨二
- 【資本金】 1億1,800万円(資本準備金含む)
- 【設立】 平成12年12月

【業務内容】

ITソリューション事業(ウェブアプリケーション開発、インフラ・ネットワーク構築)、ITコンサルティング事業、WEBサービス事業、6次産業化事業(有機農業生産等)

この産業が日本発、世界へ行く為に

グローバルな分業が進む、ソフトウェアの製品開発。

“日本人”である我々が得意とする分野での価値提供による国際市場での拡大を目指す。



「すべてのソフトウェアにMade in Japanの品質を」

ITが広がる世の中に、安心・安全・安価な品質を根付かせる。

これがSHIFTの目指す未来です。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社SHIFT
<http://www.shiftinc.jp/>

■お問い合わせ
ir_info@shiftinc.jp